

鳥取市政懇話会 資料	
令和 2 年 7 月 2 7 日	
担当課	政策企画課創生戦略室
電 話	0857-30-8014

第 1 1 次鳥取市総合計画及び第 2 期鳥取市創生総合戦略の策定について

本市が新たな時代の諸課題に対応していくための指針となる第 1 1 次鳥取市総合計画及び本市の地方創生の充実・強化に向けた施策を定める第 2 期鳥取市創生総合戦略を策定します。

1 計画期間

(1) 総合計画

- 基本構想 令和 3 年度～令和 1 2 年度（1 0 年間）
- 基本計画 令和 3 年度～令和 7 年度（5 年間）

(2) 総合戦略

- 総合戦略 令和 3 年度～令和 7 年度（5 年間）

2 人口の将来展望 … 【P 4～5】

3 総合計画

(1) 時代の潮流とまちづくりの課題

- ・ 人口減少、少子化の進展
- ・ 超高齢社会の到来
- ・ 求められる地域共生社会の実現
- ・ 命と暮らしを守る意識・関心の高まり
- ・ 期待される地域経済の成長と社会変化への対応
- ・ 交流と連携の活発化
- ・ 豊かな自然をいかした持続可能な社会の構築
- ・ 多様化・高度化する自治体経営

(2) まちづくりの理念

「鳥取市を飛躍させる、発展させる」

(3) めざす将来像

「いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、
自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」

(4) 計画推進における基本方針

- 基本方針 1 多様化する市民ニーズへ対応するための協働・連携体制の強化
- 基本方針 2 時代の変化に即応できる組織体制の構築
- 基本方針 3 将来を見据えた持続可能な財政基盤の確立
- 基本方針 4 自治体間の広域的な連携の推進

(5) まちづくりの目標

目標1 誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち

政策1：未来を創る人材を育むまちづくり

安心して子どもを産み育てたいという希望がかなえられるよう、出会い・結婚・妊娠・出産・子育てに対する切れ目のない支援を行い、子育てしやすいまちづくりを進めます。

また、教育の充実を図り、人間性豊かで思いやりがあり、郷土を大切にする、次代を担うたくましい人材を育成します。

政策2：住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり

住み慣れた地域で、誰もが自分らしく、いつまでも生きがいを持ちながら、安心して暮らせるまちづくりを進めます。

政策3：健康でいきいきと暮らせるまちづくり

市民一人ひとりのライフステージにおけるスポーツやレクリエーション、生活習慣病予防など、健康寿命の延伸に向けた取組みを進めます。また、心と体の健康を守る取組みなど、市民の健康の保持増進に努めます。

政策4：人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり

一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合う心を醸成し、共に支え合う社会の実現に向けた取組みを進めます。

目標2 人が行きかい、にぎわいあふれるまち

政策1：ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり

地元企業への支援や成長産業などの企業誘致により、地域産業の競争力の強化と労働生産性の向上による地域経済の活性化を図ります。また、人材の育成・確保の推進、新規創業・就農等の充実を図り、地域の特性を生かした産業の高度化を進めます。

政策2：人が集う交流と連携のまちづくり

地域資源の魅力を最大限に生かし、国内外への知名度を高め、観光客をはじめ多くの人を訪れ、また若者や移住希望者、外国人が住んでみたいと思えるまちづくりを進めます。また、自治体間での連携を図り、相互の発展を目指します。

政策3：文化芸術の薫りあふれるまちづくり

市民が文化芸術を身近に親しみ、伝統芸能や伝統文化を保存・継承し、文化芸術の発展と創造、また、郷土の誇りである文化財の保護と活用により魅力ある鳥取文化を次代に継承します。

政策4：快適で暮らしやすい生活環境づくり

公園や住宅、道路、上下水道等の生活基盤を整備するとともに、都市機能が集積した中心市街地の活性化と、生活拠点を中心とした魅力ある中山間地域の振興を図ります。また、公共交通を確保するとともに、地域情報化を推進します。

目標3 豊かな自然と調和して、安全・安心に暮らせるまち

政策1：安全・安心に暮らせるまちづくり

市民が互いに協力し合い、防災・防犯対策や安全な消費生活の確保など暮らしの安全を守る取組みを進めます。

政策2：環境にやさしいまちづくり

自然環境の保全や循環型社会の構築を進め、快適で利便性の高い住み良い生活空間を実現します。

(6) 第11次鳥取市総合計画体系の概念図 … 【P6】

4 総合戦略

(1) 基本的視点

本格的な人口減少時代が到来する中で、地域の特色や地域資源を活用し、『いつまでも暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市』の実現に向けた戦略を総合的に進めます。

また、「鳥取市創生総合戦略」は、第11次総合計画基本計画の重点施策として位置付けます。

(2) 構成

「第1期鳥取市創生総合戦略」の3つの柱を第2期戦略においても設定し、本市の他にはない優位性（強み）や特性を活かした施策を推進し、目標達成を目指します。

総合戦略の柱	I	次世代の鳥取市を担う ‘ひとづくり’
	II	誰もが活躍できる ‘しごとづくり’
	III	賑わいにあふれ安心して暮らせる ‘まちづくり’

第11次鳥取市総合計画基本構想（素案）の詳細 … 別添のとおり

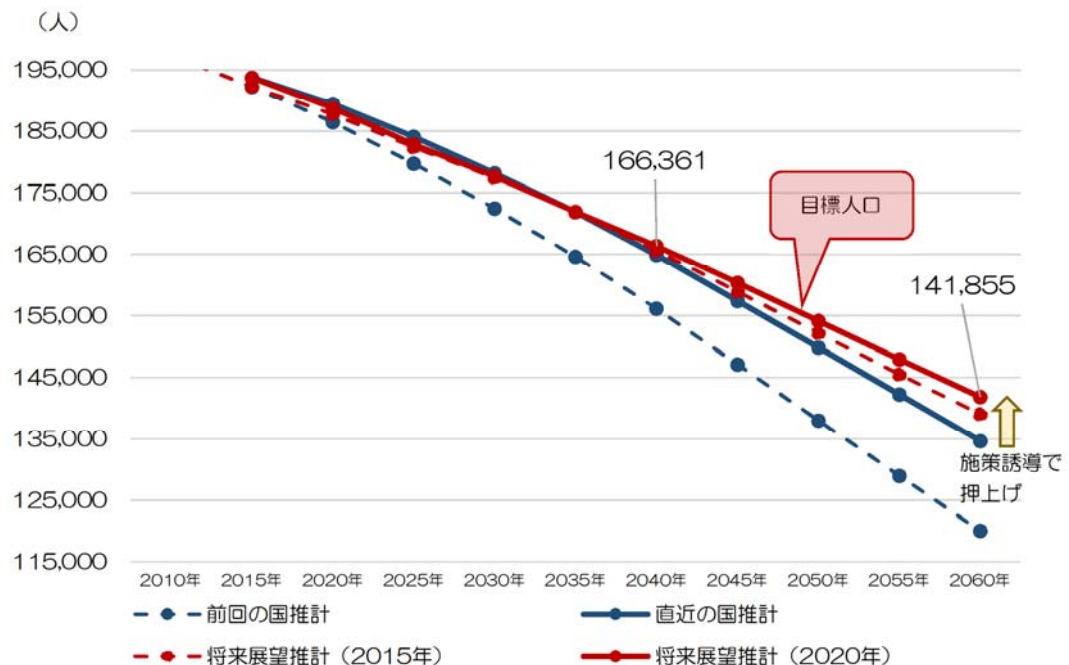
鳥取市人口の将来展望

本市の人口増加に向けた目標設定に当たり、2018年（平成30年）国推計と準拠推計を基に、国の長期ビジョンを勘案して以下の条件で推計し、将来人口を展望します。

国は長期ビジョンにおいて、合計特殊出生率が2030年に国民希望出生率1.8程度、2040年に人口置換水準2.07程度を達成することで、2060年に総人口1億人程度を確保し、その後2100年前後に人口が9千万人程度で定常状態となることを見込んでいます。

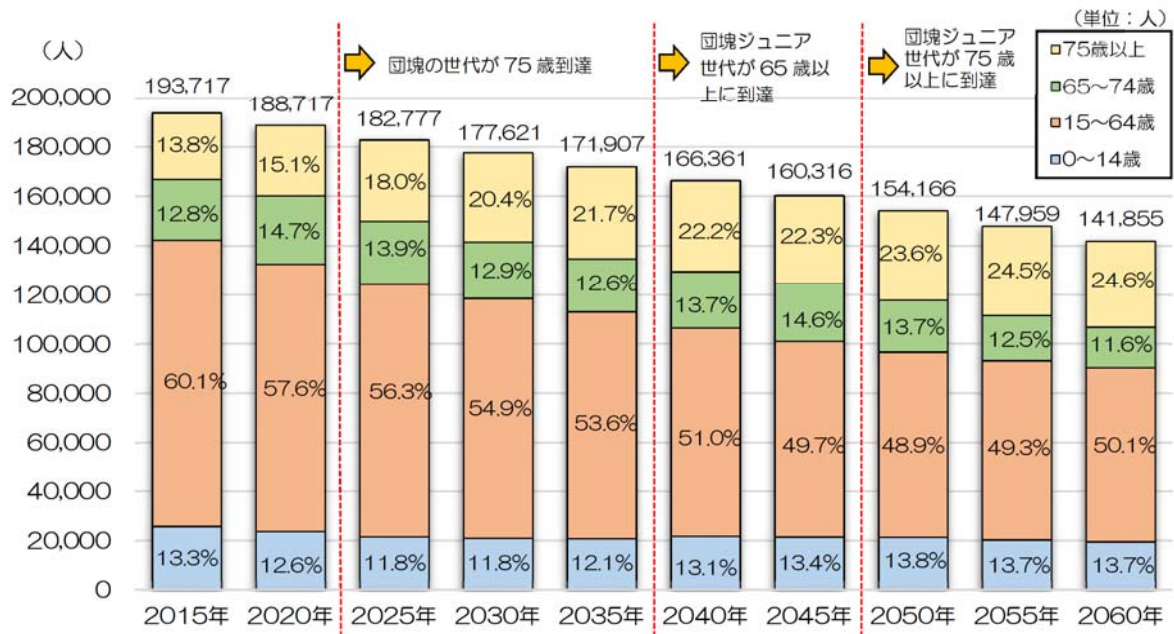
区分	社会動態の推計条件	自然動態の推計条件	
前回推計	2013年国推計(2045～準拠推計) -----	2005～2010年の社会移動が今後10年かけて半減	2013年の合計特殊出生率1.55が2025年に1.48となり、その後おおむね1.49で推移。
	将来展望推計(2015年) -----	2005～2010年の社会移動が10年間かけて半減	2014年の合計特殊出生率1.60が2020年に1.8となり、2030年2.07まで上昇
今回推計	2018年国推計(2050～準拠推計) -----	2010～2015年の社会移動が今後同規模で続く	2018年の合計特殊出生率1.50が2025年まではおおむね1.62、その後微増し2035年以降はほぼ1.64維持
	将来展望推計(2020年) -----	2010～2015年の社会移動が今後同規模で続く	2018年の合計特殊出生率1.50が2025年まで継続し、2030年に1.80、その後2040年に2.07まで上昇

人口の将来展望



目標人口	人口の将来展望 (2015年)	人口の将来展望 (2020年)
	2040年: 166千人	2040年: 167千人
	2060年: 140千人	2060年: 142千人

年齢階級別人口の将来展望



75歳ピーク(1回目) ↓ ↓65歳ピーク ↓75歳ピーク(2回目)

(単位：人)

年齢区分	2015年	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年	2055年	2060年
65歳以上	51,547	56,205	58,316	59,034	58,844	59,715	59,191	57,474	54,691	51,440
75歳以上	26,814	28,526	32,910	36,149	37,247	36,907	35,730	36,324	36,233	34,957
65~74歳	24,733	27,679	25,406	22,885	21,597	22,808	23,461	21,150	18,458	16,483
15~64歳	116,397	108,809	102,820	97,649	92,226	84,867	79,596	75,371	72,959	70,950
0~14歳	25,773	23,703	21,641	20,938	20,837	21,779	21,529	21,321	20,309	19,465
合計	193,717	188,717	182,777	177,621	171,907	166,361	160,316	154,166	147,959	141,855

一時回復

第1 1次鳥取市総合計画の体系

基本構想に掲げる「まちづくりの目標」や「政策」、基本計画に掲げる「施策」、重点施策として取り組む「鳥取市創生総合戦略」の全体像を示すものです。

